

平成22年6月定例会

平成22年第4回定例会は、6月11日から25日までの会期15日間で開かれました。

議会関係の選挙案件のほか、提出された税条例の一部改正案など17議案を、議会提出の条例改正案など2件、意見書案5件とともに、いずれも原案どおり可決しました。

また、教育委員会の委員の任命など4件の人事案件に同意しました。

なお、請願3件はいずれも不採択となりました。

この定例会では、各会派の議員6人が議案や市政全般について質問しました。

その概要は、次のとおりです。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福山市議会の意味として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

- ◆身近な地域で出産できる助産システムの実現と妊婦健診、出産費用の公費負担の拡充を求める意見書
- ◆教育予算の拡充を求める意見書
- ◆地方財政の充実強化を求める意見書
- ◆保育所・児童入所施設的环境改善を求める意見書
- ◆子宮頸がんの予防対策の充実強化を求める意見書

質問および答弁(要旨)

てばら祭の開催地について (明政会)

問 ばら祭のメイン会場は福山歩兵第41連隊の営所跡である緑町公園だが、現在、41連隊の門柱がシンボリックに残されているほかには当時の面影は残っていない。再び戦争の惨禍を引

き起こさないよう、公園内に説明板を設置してはどうか。またばら祭の開会式やパンフレット等で41連隊の歴史を説明してはどうか。

答 平和行政の推進については

「原爆・福山戦災死没者慰霊式」「市民平和大会・市民平和のつどい」の開催や人権平和資料館での常設展・企画展、市内戦争遺跡巡りなど、さまざまな平和事業を実施し、戦争の惨禍を風化させることなく後世に継承していくため市民への周知、啓発に努めており、引き続き諸施策の推進に努める。

請願の審議結果

議会に提出された請願の審議結果をお知らせします。

- ◆川南土地区画整理事業に関する要望について (不採択)
- ◆国民健康保険税の引き上げをやめ引き下げることを求める要望について (不採択)
- ◆「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める要望について (不採択)

資産の更新計画は

(新政クラブ)

問 本市は、高度成長期の人口増加に伴い、施設建設やインフラ整備を進め、行政財産が増加した。それらが更新時期を迎えており、施設の安全確保や利用見通し、老朽化の実態などを調査の上、全庁的な視点に立った資産管理計画と財政措置の検討が必要な時期だと考えるが。

答 施設の更新は多額の経費を要するため、延命化を基本に対応する必要がある。実施に当たっては、新たな行政需要に対応する施設、複合化すべき施設、改廃すべき施設について、時代のニーズを踏まえた選択と重点化を図る必要があるが、財源確保が不可欠であり、総合的に検討していく。

「福山らしさ」創出事業の取り組みは (水曜会)

問 5月のばら祭で「福山ぶちうまグランプリ」が開催され、「福山鯛うずみ」が最優秀